

回 答 書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 9 号	平成26年5月30日	伊予市役所	総務部 総務企画課
題目（テーマ）：「伊予市への視察研修には若手職員を責任者として対応を」について			
提 案 内 容（要旨）			
<p>伊予市に対する他市町村からの視察が一定数あります。これに対しては、所管部門の責任者（あるいは補佐役）が対応するものと思われれます。この視察への対応を若手職員にさせていただくべきであると考えます。それも、部署の異なる3名程度をチームにして対応していただきたいのです。</p> <p>縦割り、タコつぼ型行政の弊害が指摘されて久しいものがあります。行革が実施されており、各職員の負担が増している事情は察せられますが、行革が適切に実施されるためには、広い視野と様々な角度から洞察する資質が行政職員に求められます。</p> <p>他市町村から見て伊予市から学びたいものがあるとして視察に来られるのですから、伊予市の良さを外部にアピールする絶好の機会ととらえ、所管部門の壁を超えて勉強していただきたいと思えます。</p> <p>故郷伊予市を見直す契機になるだけでなく、外部からの目線を意識した業務を行うことにもつながるのではないのでしょうか。</p>			
回 答 内 容			
<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の内容は議会視察のことと存じますが、現状としまして市町村議会議員が主であり、随行の市町村職員を加え7～8人の規模で年間平均6回程度伊予市へお越しいただいております。</p> <p>これらの対応としましては、事前に視察内容に関する希望や質問事項をいただき、事前調査、回答説明用資料の作成をはじめ、当日の現地案内、質疑応答などの対応を個別にその都度行っておりまして、短時間で効率よく視察いただくのは勿論のこと、専門分野の説明や将来計画、予測等の広範な回答・対応が可能な所管部局の部長、課長級、あるいは課長補佐級の管理職員が責任をもってその対応を行っているところであります。</p> <p>御意見をいただきました若手職員の同席対応については、洞察能力やプレゼン能力に限らず、広範な行政課題に対応するための調査研究能力も全国体統一では決してなく、同じ答えでもないため、若手職員にとって多岐にわたる業務についての見聞は大変有意義であると考えます。</p> <p>そこで、出席する若手職員については、所管課からはじめまして、例えば初任者クラスの研修の一環としての同席や説明者の補助として、実施可能な範囲から前向きに検討を進めて参りたいと思えます。</p> <p>ただ先方の自治体に失礼があってははいけませんので、実行に向けては複数の段階にて試行を重ねて行きたいと存じます。せっかく伊予市を訪問頂きました議員及び議会関係の方々に満足を得るよう、引き続き取り組んで参りますので、それまで少々お時間を頂きたいと存じます。</p> <p>貴重なご意見ありがとうございました。</p>			